

国産材時代の展望

～国産材の利用拡大に向けての新たな取組！

11/27 県林業会館において上記の意見交換会が有りました。

元九州森林管理局長の山田壽夫(ひさお)氏の話提供を元に今後の林政について意見交換を行いました。山田氏は人吉市に約 1,000ha の山林を所有され、鹿児島大学大学院で林学を専攻されており、林野庁時代も新しい視点で国産材の需要拡大を目指した施策を実施されてきた。

「脱国産材時代、脱県産材時代、脱ブランド」が大切とされ、補助金や目先の事ではなく将来を見据えた体づくりが重要と話された。特に「森林・林業再生プラン」については集約化、路網整備、フォレスト精度だけでは林業再生は覚束無いといわれる。木材の売り先を考える事が大事だという意識改革が必要と言われた。公共施設の木造化やバイオマスの全量買い上げ制度等の効果を見ながら処方箋を変えていく事が必要であり、今後は森林認証やクリーンウッド法の対応により、海外市場を視野に入れた体質改善や体力を作り、競争力を上げ、山元への利益還元を増やす事が大切だと言われた。(現在は輸出やバイオマスで伐採業者は潤ってきたが、山元への還元が少ないのでは?)

今までの林野庁の話とは違い、大胆な想いなどを大変面白く聞いた講演でした。

また、林業振興課より、県内の築 10 年以上経過した木造施設の現状についての報告もあり、外層塗装等の修繕費はかかるものの、問題なく利用されているとの事だった。奄美農業研修センター等 20 年以上経過した施設では木造以外の部分の修繕費のほうがコスト高であることも報告されました。

【情報】

合法木材供給及び木質バイオマスの認定事業者研修会が開催されます

会場；鹿児島県歴史資料センター黎明館 講堂

日時；12 月 15 日(金)PM1:30～PM4:30

主催；鹿児島県林材協会連合会

KD 柱角材を中心に値上がり、製品不足が顕著になりました

KD 柱材の価格は 4000 円/m³以上高くなりました。

母屋角や、梁桁材も次第に製品不足になりつつあり、今後の製品価格上昇が心配されます。

合板の入荷も納期がわからない状況が続いています。

早めの手配をお願いします。

【定休日】

12 月は 2, 3, 10, 16, 17, 24, 29, 30, 31 日となります

1 月は 1, 2, 3, 4, 7, 14, 21, 28 日となります

宜しく申し上げます。



1896 年築の旧岩崎邸庭園の木造洋館